

## 第1号議案

# 平成29年度 事業報告

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

川崎市内の中小企業の景況感を総合的に示す業況D I（業況判断指数）は、川崎信用金庫の調査によると、平成29年（1—3月期）は、△8.1と前期比2.2ポイント減のおおむね横ばいを示しました。なお、小売業においては、販売価格の上昇などで改善を示しました。

（4—6月期）は、1.2と前期比9.3ポイント増の大幅な改善を示しました。業況D Iがプラスとなったのは平成27年1—3月期の0.4以来9期ぶりとなりました。（7—9月期）は、△0.7と前期比1.9ポイント減の横ばい傾向を示しました。（10—12月期）は、0.5とプラスに転じたものの、前期比1.2ポイント増の横ばいを示しました。なお、小売業は個人消費の伸び悩みや仕入価格の上昇などで後退しました。次期の全体の見通しについては△1.7と今期比2.2ポイント減の横ばいを予想し、慎重な見方となっています。

こうした中、当連合会は、4つの基本理念に基づく、4本柱としての事業活動を実施してまいりました。以下、主だった事項について述べてまいります。

第1の柱である、情報受発信事業では、市商連ホームページに商店街イベント情報のお知らせや支部長会議・総会・理事会の結果報告及び川崎フロンタールの優勝シーンなどを掲載してまいりました。また、「iine.kawasaki」（いいね！川崎）をフェイスブックページとして立ち上げ、市内商店街に関する情報や話題を発信してまいりました。また、毎月、市商連ニュースを発行し、情報提供に努めてまいりました。

第2の柱である、政策提言活動では、自民党・公明党・民進みらいの市議団に対して商店街の実情と街路灯電気料の補助の増額などを要望いたしました。また、川崎市長に対して新たな補助金の要望や市民文化局長に対しても街路灯電気料補助の要望を行いました。

第3の柱である、活性化事業としては、市商連主催の事業である商業情報研修事業では、「繁盛店はココが違う！」と題しまして2月1日（木）に川崎市総合自治会館にて商店街活性化フォーラムを実施いたしました。

また、地区商連や単会への支援事業としては、  
① 地区商業調査研究支援事業では、中原区商連夏季大学の調査研究に対して支援を行ってまいりました。

② 商店街魅力アップ支援事業では市内33地区の商店街イベントに対してアンケート調査や助言などを行いました。また、市商連ホームページで開催前の案内を行いました。

③ クレジットカード事業としては、(株)日専連アクア様と連携して「市商連特別割引」を開始しました。4月に市内3カ所で説明会を開催するとともに、5月から7月にかけて単会や区商連を対象に説明会を開催しました。現在、クレジットカード取扱店舗の拡大に努め、徐々に売り上げが上昇してきているところです。

④ 年度後半には、「プレミアムパスポートのお勧め」を提案し、中原区版と田園都市版の作成を決定し、中原区版は3月14日に発売となりました。

⑤ 街路灯の広告掲出支援事業では、(株)アルセスと包括契約を結び、さぎ沼商店会や溝ノ口駅前商店街及び春秋苑通り共栄会などで、商店会収入につながる企業広告の確保への支援を行いました。

第4の柱である後継者育成事業(青年部事業)では、新たな青年部長のもと、ほぼ毎月1回会合を行い、川崎フロンターレ優勝記念セールポスターの作成や音楽ライブ・アーティストに対する支援など青年部活動の報告や協議及び新たなチャレンジ事業の検討などを行ってまいりました。

また、市商連の機能強化として、新規に開店した大型店に対して、賛助会員として入会していただくため、10店舗を対象に新店舗と本部に入会の案内を送付しました。そのうち5か所を訪問して加入案内に努め、その結果2つの大型店に新たに入会していただくことになりました。

これらの事業実施・取り組みにあたりましては、会員各位のご理解・ご協力のもと、川崎市、川崎商工会議所並びに商連かながわのご支援を賜り、所期の目的を達成することができましたことを、心から感謝するものであります。